

『逆境を力に』変えた

株式会員 A I J 会員
代表取締役 Y S T
的場 義春

『プロファイル』

一九八二年七月二十九日練馬区に生まれる。所沢市、清瀬市と移り住み小学三年生の時に立川市での生活が始まる。小学校、中学校と野球に明け暮れる。高校へ進学をしたが夏休みに、建築現場でのバイトで仕事を面白さに気づき高校生活にピリオドを打ち、就職の道を選ぶ。その後、防水をメインとする建物修繕会社に就職し八年の修業の後、独立。平成二十三年ワイヤーテック創業。平成二十八年四月に株式会社 Y S T を設立。現在に至る。



THE 対談 鈴木広報室長 × 的場会員

【鈴木室長】 こんにちは。的場会員をさらに会員みんなに知っていたときの印象で、色んな仕事をしていますか。

【的場会員】 建物修繕工事をしています。

【鈴木室長】 なぜ現在の仕事を従事されたのですか？
【的場会員】 高校をみんなより早く卒業して（笑）色々仕事をしてきました。

【鈴木室長】 逆境を力に
【的場会員】 現在、コロナの影響でやはり仕事は減っています。

【的場会員】 最初は知り合いでもなく、取引先もない。しかし自分が修行をして育ててもらった会社、また、関係先などを増やしていく

【的場会員】 最初は仕事増やしていくのではなく、取引先もない。しかし自分が修行をして育ててもらった会社、また、関係先などを増やしていくのに、最初は同業者の応援で実力を見てもらい、認めてもらつた後、請負での仕事をもらい、新規開拓と紹介で徐々に仕事が増えやしていく感じですね。

【鈴木室長】 逆境を力に
【的場会員】 変えたことは？

【鈴木室長】 逆境を力に
【的場会員】 現在、コロナの影響でやはり仕事は減っています。

【鈴木室長】 逆境を力に
【的場会員】 現在、コロナの影響でやはり仕事は減っています。

インタビューを終えて：

青年経営者 担当：



パブ、居酒屋の店員、ロシアンを経て今の仕事の基となる会社に就職し、その会社で八年間勤務したのち、独立をしました。

最初の緊急事態宣言時まだ何も先が見えない状況下で、作業の出来る現場はあるものの、影響が確実に出てきている。お客様が近くにいられる現場などは、接觸してしまったのではありませんか？

そこで『逆境を力に』変えます。今まで『やばいな、こまうから仕事ができないな』の先どうなってしまうのだろう」と危機感を感じた。

そこで『逆境を力に』変えます。今まで『やばいな、こまうから仕事ができないな』の先どうなってしまうのだろう」と危機感を感じた。

そこで『逆境を力に』変えます。今まで『やばいな、こまうから仕事ができないな』の先どうなってしまうのだろう」と危機感を感じた。